

# 木々を見つめて

～身の周りにある木々の役割を考えよう～

<b>校種・学年</b>	小学校・第4学年	<b>教科等</b>	図画工作科
<b>時間・学期(月)</b>	6時間・前期(6月)	<b>副読本</b>	P7「地球はもっと暖かくなる!?!」 P14
<b>準備等</b>	写真・イラスト資料等、校庭内の樹木とのふれあいの場		

## 1 わらい

本校のシンボルである「くすの木」に焦点を当て、木々(植物)が環境の為にどのような役割を担い、私たちの生活や環境にどう関わっているのかを冊子を通じて確認し、植物は二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防ぐ為に大切な役割を担っていること。地球温暖化を防ぐために植物を育てることが大切であることに目を向けさせ、環境を大切に作る心を育てたい。そして、木々を題材にした絵を描く中で「色づくりや筆使いなどを工夫する」ことを通して形や色、方法や材料を工夫する力を培いたい。

## 2 伸ばしたい資質・能力

- 自分のイメージや伝えたいことを作品として考える力
- 自分の表したい感じに合う方法で表現する力
- 友達の作品からよいところを感じ取り、言葉で表現する力

## 3 指導計画(全6時間)

時間	主な学習活動・内容等
1	○地球規模の課題等を知り、植物の役割について理解を深め、感謝の気持ちを持ち木々を見つめ、自分の描きたい場所を決める。
4	○光の差し込む枝や、木陰の葉の色彩を観察し、自分の表したいイメージに合う方法で下描きを行い、彩色する。
1	○友達の作品を見合い、構図や彩色等、よいところを見つけ、文章で表現する。

## 4 本時の学習指導(本時 1/6)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
10	○資料と出会い、本時の学習の見通しを持ち、学校敷地内を観察しながら様々な樹木に触れる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">私たちの周りに生えている木は、どんなふうには枝をのばし、どのような葉をつけているのでしょうか。</div>	○气象台による過去30年の最高気温を表したグラフ ★P7「地球はもっと暖かくなる!?!」 ★P14「二酸化炭素を吸収するもの」
30	○植物の役割を知り、よく観察して描写の対象を選び作品制作に取り組む。	
5	○改めて描写の対象に触れ、表面等の質感を確かめる。	

## 5 他教科等とのつながり

- 4年生算数科「折れ線グラフ」
- 4年生理科「気温の変わり方」

## 6 社会とのつながり

- 家庭や地域の人たちとの対話
- 植樹活動のボランティア活動への参加

**7 おすすめのポイント（さらに、効果アップ！）**

- 植物が二酸化炭素を吸収する役割を担っていることや「光合成」についてイラスト入りで紹介されているので、4年でもわかりやすく学習できる。
- 家庭や地域の方に、資料から読み取ったことについて一緒に考える機会をもつと、学習がより深まる。
- 学習したことを基に自分たちにできることを考え、写生場所や敷地内の樹木など多くの選択肢の中から判断させるために、具体的なイメージを持たせてから活動に取り組みさせる。

**8 授業後の児童の感想、参観された方の感想など**

- 児童が絵を描き始める時、「木への愛情」を持ったことがよかった。
- 板書では樹木を「側面から見る」ということを説明したが、「下から見る」という2つの視点を持つことが大切。同じ木でも見る場所によって見えてくるものが違ってくる。晴れていれば木陰の効果がよりハッキリする。
- 今まで見ていた「くすの木」を「私たちの生活を支えてくれている存在」として、ゆっくりと時間をかけて見ることができた。

**9 研究協議の内容**

- 過去30年間の最高気温に着目したことがおもしろかった。グラフからこの先のことを予想させることで、危機感を持ち「自分にできること」について考えるようになった。
- 晴れていて「木陰の涼しさ」が体験できれば、子供たちの「植物のありがたさ」についての考え方がより深まったのではないか。